

# SAK だより



“お汗 汗”

平成10年  
かながわ  
ゆめ国体



神奈川県スキー連盟  
横浜市神奈川区台町16-1  
ソレイユ台町 407号室  
電話 045 (311) 8907  
FAX 045 (324) 6966  
発行者:柴田伸彦  
編集責任:小松良昭

## 県民スキー北海道に

# 330名が参加!

平成7年12月13日~17日



指導員研修会開講

朝里川スキー場で開会式

### 各部だより

## 総務部

事務局への問い合わせ  
についてのお願い

総務部長 佐伯 英雄

現在、県連事務局では二名の事務局長が交代で、勤務をしております。皆様からのお問い合わせや、各種行事の申込み事務、物品販売などを行っております。

在局日と勤務時間

在局日は祭日を除く、月曜日から金曜日の午後となっており、また、事務受付時間は午後二時三十分から七時三十分

## マスターズ大会の魅力

伏屋 真澄

「SAKだより」の企画として、マスターズ大会の魅力について皆さまに知って頂くことがこの主旨で、マスターズ参加者による「ペンリレー」が前号よりスタート致しました。

第一回は、横浜スキー協会の熊谷敏夫さんが執筆され、一参加者として私も楽しく記事を讀ませて頂きました。しかし、まさか今回私が寄稿依頼を頂くとは思っていません。



「体が動く間はレースを楽しもう」と言う気持ちになりました。そんな時、レースを愛する高齢者を対象としたマスターズ大会がある事を知り、今も一緒に参加させて頂いている皆様と、誘い合い参加する様になりました。

公式練習では、無理をしないようにと言いつつ合っているのですが、いざ本番となるとまだまだ若いつもりで、気合いもろとも一気に飛び出して行かれる方も多く、また、第一戦の日の夜に行われる懇親パーティーはとても和やかな雰囲気、参加者の皆様はそれぞれにこのマスターズ大会を楽しんでいらつしやいます。

今年の大会は2月24日、25日に小樽で開催されます。出場資格は、男性女性共35才以上からで、5才刻みにクラスが分かれております。

この楽しい大会に参加してみたいと思われる方は、詳細をSAK事務局、または強化部の細井健吾さんにお問い合わせ頂くと、是非ご一緒にレースを楽しんでみませんか。

私も徐々に負担となって来ている現状にあります。従いまして、前年度評議員会にて今後の販売方法としては、「新規作成はせず現品の販売を行い、完売した時点でグッズ販売も終了とする」旨のご了解を頂きました。

よって、本年度も各クラブや協会単位での販売に依頼を頂戴することと思われませんが、ご希望に添える品揃えが出来ないことを、予めご理解頂きますようお願いいたします。

尚、現在在庫はポロシャツとソックスが主体となっておりますが、普及部行事を中心に販売を続ける予定ですので、ご協力をお願い致します。

「体が動く間はレースを楽しもう」と言う気持ちになりました。

そんな時、レースを愛する高齢者を対象としたマスターズ大会がある事を知り、今も一緒に参加させて頂いている皆様と、誘い合い参加する様になりました。

公式練習では、無理をしないようにと言いつつ合っているのですが、いざ本番となるとまだまだ若いつもりで、気合いもろとも一気に飛び出して行かれる方も多く、また、第一戦の日の夜に行われる懇親パーティーはとても和やかな雰囲気、参加者の皆様はそれぞれにこのマスターズ大会を楽しんでいらつしやいます。

今年の大会は2月24日、25日に小樽で開催されます。出場資格は、男性女性共35才以上からで、5才刻みにクラスが分かれております。

この楽しい大会に参加してみたいと思われる方は、詳細をSAK事務局、または強化部の細井健吾さんにお問い合わせ頂くと、是非ご一緒にレースを楽しんでみませんか。

私も徐々に負担となって来ている現状にあります。従いまして、前年度評議員会にて今後の販売方法としては、「新規作成はせず現品の販売を行い、完売した時点でグッズ販売も終了とする」旨のご了解を頂きました。

よって、本年度も各クラブや協会単位での販売に依頼を頂戴することと思われませんが、ご希望に添える品揃えが出来ないことを、予めご理解頂きますようお願いいたします。

尚、現在在庫はポロシャツとソックスが主体となっておりますが、普及部行事を中心に販売を続ける予定ですので、ご協力をお願い致します。

### 各部だより

## 強化部

平成8年度(95~96)

強化部行事について

強化部長 山田 カ

「かながわゆめ国体」(第53回国民体育大会・平成10年)まで、あと僅かとなりました。各競技団体一丸となって天皇杯獲得に動き始めております。神奈川県スキー連盟も一翼を担うべく、平成8年度(95~96シーズン)では、「成年の部」の選手を対象とした合宿を2月に野辺山・車山・津南を会場として2回実施いたします。

また、指導者養成の一環として「神奈川県スキー連盟公認旗門審判員検定講習会」セッター検定講習会「および」神奈川県スキー連盟競技技術指導員・競技運営指導員・公認セッター」のクリニックを実施致します。

大会関係では、例年12月に開催しております「ミスノ杯」が1月12日(金)14日(日)となります。申込締切日等、十分にご注意下さい。

### SAK 競技者登録を!

スキー競技アルペン種目の参加につきましては「SAK 競技者管理登録」が必要となります。「SAI」会員登録と共に必ず登録を行って下さい。また、これにより、平成8年度よりチームキャプテンミーティングでの抽選の際、コントロール(出発棄権の選手

を事前に除くこと)を行います。コントロールされずDSとなった選手に対しては、ペナルティが与えられます。したがって、各チームの代表者は必ずチームキャプテンミーティングに出席して下さい。SAJ 公認大会は、SAJ 競技者登録を!

なお、「SAK 競技者管理登録」と「SAJ 競技者管理登録」を混同しておられる方が居るようです。「SAK 競技者管理登録」は神奈川県スキー連盟が主催し開催する、スキー競技アルペン種目の大会にエントリーする場合に必要となります。「SAJ 競技者管理登録」はスキー競技アルペン種目・ノルディック種目・フリースタイル競技・スノーボード競技において、全日本選手権等、全日本スキー連盟公認大会に出場する全ての選手に必要となります。

### 第1回スノボ選手権大会

平成8年1月26日(金)より28日(日)の3日間、長野県野辺山スキー場を会場として「第一回神奈川県スノーボード選手権大会」を開催致します。これは、昨年度スノーボード競技の第一回全日本選手権が行われましたが、今年度の全日本選手権大会に対応するものと位置付けております。スキー競技の多様化と言われて久しい感がありますが、「第一回神奈川県スノーボード選手権大会」に大勢の方々の参加をお待ち致しております。平成8年度「神奈川県スキー連盟諸手続き要領」に各種大会・合宿の申込について、参加申込書、SAK 競技者管理登録、SAJ 競技者管理登録、等々詳しく掲載してありますので、熟読下さい。

# 指導員研修会講演 検定制度の改正について



講師 平川 仁彦  
〇 教程、教本の理解が求められる

この度検定に関する規程が改正されました。種目の変更を含み、今回の改正は前年に改訂された教程、教本の骨子に乗っ取り、整合性を持たせるための見直し作業から始まりました。現在は変更に伴う規程等の確認が済み正式な運用に入っています。

この改正の内、最もポイントになるのは、種目の変更と評価の基準についてだと思えますが、このことは要点を後述する事にします。規程の中では、準指導員並びに指導員検定にあたっての養成課程が、いわゆる「40時間制」になったことが重要なところだと思えます。新規規程は文部省の認定事業である社会体育指導者制度との整合性を図ったということになりますが、そこから養成課程の新しいシステムが派生していると聞いています。このシステムに対する対応は、今年度は各地区において足並みが整わない現状ですが、既にスタートしている地区もあります。いずれ統一的なプログラムが提起されてくると思います。

これからの受験者にとって従来よりも負担が増えることになりませんが、個人的には、この養成課程での新たな研修は、スキーを幅広い観点から見直すことでもあり、いま指導者に求められている「質の高度化」に結びつくものとして考えています。

前提として、まず、今一度教程と教本をご検討いただきたいということになるわけです。特に、種目と観点については資料と教程、あるいは教本との照合をして頂くことが大切です。人をジャッジする

## 教程、教本の考え方と検定の考え方

従来の教程、教本には重複する内容が随所に織り込まれていました。新しい教程と教本は、技術書と指導書とに性格分けを明確にしました。技術の考え方が明確に出ているところは、教程の3章の「技術の仕組み」と「技術の組み立て」になります。指導の考え方は教本の3章の「スキー指導の実際」の全般になります。

教程、教本の理念については、「SAKだより」で2回にわたってインタースキーの報告を掲載しましたが、あの発表の内容の背景のとらえ方が基本的な理念であると考えています。特徴的なところは、「パラレルターンを皆のもの」という具体的なコンセプトを打ち出していることです。

日本では、現在高齢化社会への対応がよく言われますが、スキー界もその風潮が現れています。最近では盛んに「中年のスキー」が言われるようになり、これは不思議なことであり、これは不思議なことであり、日本独特の発想かも知れません。何故ならば、ヨーロッパなどでは中高年のスキーヤーが当たり前であり、日本のように、若者が怒涛を組んでスキー場を独占するなどという

大きなイベントであるわけではなく、それが「怖いとかつまらない」というものではありません。この辺も教程、教本の基本的な理念に沿うものであつてほしいと思うわけです。従って、今回の検定に関する改正事項をより正確に理解する

という立場は、受ける側の人との関係が厳正でシビアにならざるを得ません。しかし、両者に共通していただきたいことは、種目あるいはジャッジの観点についての情報だと思えます。

## 安全性が損なわれる

「安全性が損なわれる」という問題が大きいようです。そこで、スキー技術というものが、何のために存在すべきかという観点から考えたとき、第一に「安全」ということであります。パラレルターンを皆のものに、という考え方はスキー場の動線とスピードのコントロールをねらいにしていることとなります。パラレルターンの運動特性は、あらゆる条件、状況に対して優位性を持つているからです。

## 指導の体系

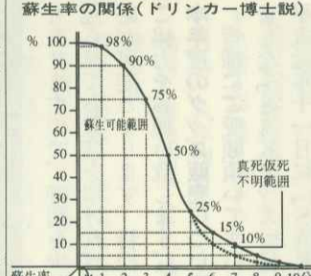
従来の体系では、ブルークボーゲンが明確に交互運動と交互操作になっていました。この運動要領を一貫して高めていくことでパラレルのスキースタンスもしくは鉄型のステップターンの系統にもついていくという、一つの類似性から一貫する流れが体系としてあります。もう一つは同時運動系があり、その典型的なものとしてはジャンプターンで、山まわり横滑りなどの斜行系統のバリエーションからパラレルターン、スキーを平行にしたままで両スキーを同時に操作してまわる技術という系統が二本あります。

しかし、新しい教程の考え方は、同時運動系というものはなくて交互運動・交互操作が中心という考え方をベースにもつています。そして、誰もが有する普遍的な技術としてパラレルターンを掲げていますが、このパラレルターンの特徴は、片足で立つ時間を極力含まず、常に両方のス

# 対 アラカルト

## 新救急法開始される

とっさの時にあなたは  
何ができますか  
神奈川県スキー連盟では、  
安対活動として、安全意識の



呼吸停止後の時間と蘇生率の関係(ドリンカー博士説)  
本表は米国のドリンカー博士の呼吸停止による死に至る時間的経過を示すものである。

キーが雪面に接している状態が多いほど自然な動きであるとしています。スキーの滑るという運動の特性から考えた時、体を支える足場が一本よりも二本あった方が安定するという考え方をしています。従来の交互運動系の、右を使って左を使うという移行または乗り移っていくタイムラグがある動きから徐々に左右の足の運動がグブって行われるようにタイムラグが少なくなつて、外スキーから使っていくが内足もそれに追従していく、主になる足の操作に片方の足が同調していく運動でパラレルを実現しようというオリジナリティのある考え方、指導のプロセスをとらえていくというのが今回の教程の新しいところであり、システムターンの何処へ

高揚及び事故防止対策を推進してありますが、その一環として「日赤救急員」の普及を行っており、毎年9月に日赤救急員正規養成講習会を開催しています。本年4月から救急法の改定により、心(臓)マッサージが導入されたことは画期的なことですが、これまではドクターが行っていたのが救急員もできることになりました。今までの救急員も再度この新救急法の受講をお勧めします。

図は米国のドリンカー博士の呼吸停止による死に至る時間的経過を示すものです。傷病者が呼吸停止から2分間の運動で、スピードを抑えて回る技術という特性があり、この運動要素を指導の途中経過で位置づけた場合パラレルが習得できない要素につながってしまうという判断から、基本的な運動技術を学ぶプロセスの中から外して応用技術のステップ系に実用的な使い方として位置づけていくということと理解して下さい。

また、回転から回転へ、必要と飛び移る筋力的な要素が必要なジャンプ動作も実践の場面では多く使われています。技術の基礎的な段階の体の使い方を習得する中では入れないように組んでいます。これも応用の段階で、ストレッチングターンの発展した形でジャンプの技術を実践種目としていくという考え方です。

指導の技術を構築していく経過の中に種々な運動がありますが、リズム感を阻害するような運動要素は持ち込まない。その理由にはブルークボーゲンなどで綺麗な流れができていたのに、次の段階でリズムが変わると滑り手が得る知識としては、異なった動き

なくなりまし。検定のシステムは、運動そのものを見るもので、斜面・長さ・回転数・幅・傾斜などの枠組みをした中で一つの滑りのスタイルを決め、それがどう消化されているか、あるいは一つの技術の形態をどの位置でいるかという、完成度を見る内容で構成されるところが具体的に

### 種目と評価について

指導員検定の種目は、技術の完成度を見るという事が特徴として言われ、教程の表現の中から指導員の種目は出されています。また、準指導員は、指導力を見るという事から、指導種目の交互運動から同調運動へ発展する過程の種目が並べられていますので、教本を照らし合わせて見ていただければ種目は分かり易いかと思います。

級別テストは、技能テストとつたわられていますので、どの様な滑りが出来るかというよりも、漠然とした表現かもしれませんが「うまくいかへたか」というような観点が大切になっています。しかし、準指とか指導員ともなりまして、スキーヤーが持っている技能とは別に、技術評価ができるか、あるいは

### インタースキー報告 III

79年蔵王、87年バンフ（カナダ）、91年サンアントン（オーストリア）、そして95年野沢。私のインタースキー見学もこれで4回目となりました。



に変わったところであり。本質的な技術の評価というものは、原則的な運動の内容を統一的に見るということ、色々な種目はあるが技術の観点は一つという考え方を示したい。その方が、技術観点として、全ての種目が共通した観点で見るといふシンプルなものにしたということであり。生徒を持つて問題のある生徒に直面したときに処方箋ができ、師範が出来るかという表現力の幅を求めていますので、準指・指導員検定は、運動を解析・分析し解剖的に滑れるという師範能力といものがベイスにあると理解された方がよいかと思。基礎・パラレルの概念

基本的な考え方は、教程・教本による技術の組立に準じたターンに必要とする原則的な要素の習得から両足の同調運動を目指している同調パラレルということになります。基礎・パラレルの概念は、開脚のスタンスでストックを使わず伸上がりで切替えて曲げ動作で舵を取るという組み立てですので、両スキーを常に雪面において、スキーの性能をより引き出すための運動を

ベースにしているという考え方を持っています。かつてのパラレルターンで言う、形と外向傾をとれば良い滑りが出来るという神話に近い間違ってききましたが、最近良い力の組立を雪面に働かかけてやれば、良いフォームが出来てくるというように考え方に変わっています。ブルークターン

ブルークターンはシュテムではないのかということですが、シュテムはハの字型に開き出すことによって次の回転のポジションを早く作り出し、内足の処理をエッジングに入る前に操作されていくという特徴があります。しかし、ブルークターンはダイレクトに外スキーを主体に回してきてハの字型を作り出しますので、外スキーはダイレクトに回転に入っているという違いがあり、それから外スキーの回転を継続していく中で内側のスキーが処理されていくという組立になっています。

### 基本的な運動感覚

最近PNFという話題のトレーニング法があります。筋肉の動きと意識を結びつける効果的な方法ですが、実際の滑走感をシュミレーションし

1月22日、野沢温泉大会はパラレルターンを中心とした技術展開・指導展開を表現した日本のデモンストレーション演技で幕を開けました。各国のデモンストレーションが

### インタースキー 野沢温泉大会を観て

大和スキー協会 阿久津光代

従来よりもショーアップされており、一般参加の私たちにとても十分に楽しめるものでした。今回とくに印象に残ったのは、2日間にわたってワーク

います。これは、子供たちのような作意のないスキーヤーがブルークボーゲンでスピードアップしてきて、エッジングができるようになる必然的に現れてくる滑りなのです。しかし、それを意識を持って演技するのは大変に難易度が高いということになります。指導の中ではブルークボーゲンが完成しないと次へ行かせないという指導はせずに、エッジングの内容を見つめる手段としてブルークボーゲンは取り扱います。

この辺りの基本的な種目を検定に設定した背景には、高速種目だけが難易度が高いものでなく、指導員の演技するブルークボーゲンでは繊細な体の使い方などがマスターされていくかどうかを見る要素があります。これには、カービングターンの至上主義でなく推進力を失わない、ずれのあるターンも最高難易度の高い体の使い方として位置づけられているのです。

その場でブルークの姿勢をとって下さい。日頃のブルークのフイーリングをしてみて下さい。基本的にはハの字に開いているスキーのスタンスと、両スキーの重心位置に対して、体の中心がどの位置にあるかということがポイントになります。プレーヤーによって個性を持っていますので一概に決めつけられませんが、おおよそ内くるぶしの真下ぐら

て良いイメージを獲得するということも大切だと思います。ちよつとこの場でスキーコントロールのコツをやってみましょう。

大会中、じつに15年ぶりに元全日本デモの相田さんと再会して一緒に滑ることができたり、ワークショップで一緒だった西原さんから「長野で歯が痛くなったら、いつでもどうぞ」とのオマケがついたりと、とても楽しいインタースキーでした。



### スキーコントロールのポイント

スキーの技術指導は、形ではなくて感覚を統一化するという、実際に現象が起きてくるような種々なフイーリン

駒のように踵を少し外へ動かします。それと同時につま先も内側に回し込むような使い方をしてみると、先ほどの膝をX形に絞った感覚とはずいぶん違うと思います。さらに、小指側を持ち上げるようにしてみて下さい。実際の滑りではブーツの中で行っているのを見えませんが、技術を評価する大切なポイントなのです。このブーツの中で小指側を少し上げた運動を行うと、床を押さえている力の感覚が出てくると思います。

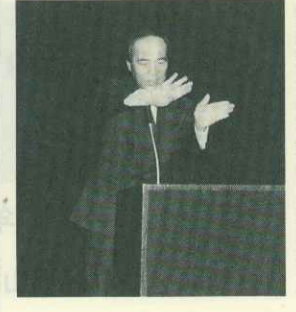
つぎに、そのままのスタンスでつま先を平行に向けた直滑降姿勢にしてください。そこから、母子球を支点にして踵を外側に回す運動を行います。このときも小指側を少し上げるようにします。この場所では抵抗がありますが自宅座布団の上でやるとよく解ると思います。これも広いスタンスで回転に必要な傾きが両足にできて、つま先を軸にして踵を動かすという運動になり、横へズルと行きやすい状態ができてきます。いずれも、体重がスキーに乗っていて軸をどこかに決めて踵が動くと、スキーの動きがスピンまたはスライドという動きになります。この関係をとらえておくと、種目を理解するうえで大変分かり易くなりますので、シュミレーションしてみるのが良いのではないかと思います。

つぎに、そのままのスタンスでつま先を平行に向けた直滑降姿勢にしてください。そこから、母子球を支点にして踵を外側に回す運動を行います。このときも小指側を少し上げるようにします。この場所では抵抗がありますが自宅座布団の上でやるとよく解ると思います。これも広いスタンスで回転に必要な傾きが両足にできて、つま先を軸にして踵を動かすという運動になり、横へズルと行きやすい状態ができてきます。いずれも、体重がスキーに乗っていて軸をどこかに決めて踵が動くと、スキーの動きがスピンまたはスライドという動きになります。この関係をとらえておくと、種目を理解するうえで大変分かり易くなりますので、シュミレーションしてみるのが良いのではないかと思います。

なればならないので、基本的には両スキーを雪面に置いて置いた中で力の方向・時間及び量のコントロールをしています。

雪の上に出るのスキーは、それ程変わっていません、自然に現れるものを重視していただきたいという考え方でいます。ご健闘をお祈りします。

雪の上に出るのスキーは、それ程変わっていません、自然に現れるものを重視していただきたいという考え方でいます。ご健闘をお祈りします。



### まとめ

#### ブルークターンの再確認

ブルークボーゲンがよりリズムアップして流れが出てきます。その中で、外スキーが捉えられるとより滑れる運動から滑らせる運動ができるようになり、重心は体の内側に押されることになり。すると、内足をイン・エッジの状態にとどめることが苦痛になり、必然的にフラットまたは切り替えてしまった方が楽な状態になります。これは、あくまでも内足を処理するものでなく外スキーがいかに推進力のあるエッジングをしていくかがブルークターンの場合の鍵になっています。

結果的に腰がターンのインサイドに寄っていくような運動が出てきますが、見逃してはならないのは、外スキーのエッジングの仕方、外足と上体がなすポジションが見られます。ですから、片方のスキーにしっかりと乗って良いポジションでターンができれば、内足は置いておこうが上げておこうが構いません。しかし、指導の技術ということになるに段階的なパターンを見せ

我々が使っているスキーブーツは、ある程度の方向性と可動性を持っていますが、ポイントはずねの骨にあります。すねの骨の内側でブーツのインサイドが圧迫されるようにスキーヤーは動くはず。このブーツと足の接点と母子球のインサイド、それから踵のインサイドという3つのポイントが示すトライアングルをどの様なタイミングでどの位、どの方向に向けてやるのか、スキーを動かすポイントになります。そして、スキーを雪面に押さえて、梃子作用を行うための軸になるポイントを荷重点ととらえれば良いのではないかと思います。

雪の上に出るのスキーは、それ程変わっていません、自然に現れるものを重視していただきたいという考え方でいます。ご健闘をお祈りします。

# 版からわが協会

神奈川県スキー連盟広報委員会・編集グループ

綾瀬スキー協会

## 19番目の 新しい仲間

### 綾瀬スキー協会が発足!



県下19番目の新しい市

綾瀬市は、昭和53年、神奈川県で19番目の市として誕生しました。県の中央に位置しながらも鉄道駅の無いことで全国でも珍しい市であります。東京、横浜に近いことから人口も急増し、かつての高座豚で有名な農村地帯もベッドタウン化し、今では人口8万余の中核都市となりました。スポーツが盛んで、特にサッカー、野球、バドミントンなどは全国大会にも県代表で

出場し、優秀な成績を納めています。

スキー協会発足までの経過

市政施行後、市内在住のスキー愛好者が集まり、市民スキー教室を開催しました。初心者から上級者までクラス毎の講習会が好評で、これをきっかけに綾瀬スキークラブが誕生しました。

毎年、志賀高原で「市民スキー教室」を開催し、その後五竜とおみで「市民スキー大会」を開催することが出来るようになり、県総体にもすでに10年連続出場してまいりました。

市体協にも加盟し10年余が経過しましたが、悩みはクラブが一つだけということで、市内の企業に呼びかけたり、県連にも状況報告しながら仲間が増えることを願ひ続けまいりました。その結果、新たに二クラブが加盟したのを契機に、懸案でありました県連加盟にこぎつけることが出来ました。

技術の向上と普及を、今後は、協会スキー団体相互の交流を深めながら、正しいスキー技術の向上と普及を図ってまいります。

この間、県連のご指導や各協会関係各位のご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

### 協会のプロフィール

加盟団体

綾瀬スキークラブ

会員数 32名

代表者 石渡 善司

綾瀬中央スキークラブ

会員数 29名

代表者 久木田八州郎

厚木自衛隊スキークラブ

会員数 13名

代表者 二川 達也

協会役員

会長 石渡 善司

理事長 阿部 常雄

連絡者 波田野 好他

津久井スキー協会

## わが町の 子どもスキー

津久井町では、スキー協会と体育協会、教育委員会が共催で、小学3年生から中学3年生までの子どもを対象としたスキー教室、スキー大会を毎年2回開催しています。

1回目は、スポーツ少年団を対象として1月に新潟県安塚町のキューピットバレースキー場で開催し、四〇人程度の参加を得ています。2回目は、3月に一般公募により山形県蔵王スキー場で九〇人程度の参加を得て開催し、スキー教室とスキー大会を実施しています。スキー大会には、全員が参加し、小学生別の男女をさらに初心者、中上級者の3クラスに分け、一五旗門程度で実施し、各クラス別に三位まで賞状及びメダルを授与しています。

各教室とも「親子では甘えたくない」ということから子どもを単独で預かり実施していますので、食事や就寝の世話、夜中の見回りと、役員は休む暇もありません。でも、初めてスキーをした子どもが「コーチ滑れるようになったよ」とか、「スキー大会は完走できたよ」と子ども達から笑顔で呼ばれた時はコーチ冥利に尽きます。

今後このスキーを通じた「笑顔の関係」を大事に、楽しい子どもスキー教室を計画していきたいと思えます。(サンタ 井上)

# 指導員会 NEWS

神奈川県スキー指導員会広報部  
横浜市神奈川区台町16-1-407  
神奈川県スキー連盟内  
☎(405)311-8907  
幹事長 吉岡 幹雄

### 第12回指導員会 フェスティバル

1997年4月6日～7日  
車山高原スキー場

神奈川県スキー連盟に所属する指導員相互の親睦を深めるために、ボール講習会、特別研修会、パーティ、抽選会、大回転競技等を行いバラエティに富んだ催しです。



## 平成八年度執行方針

神奈川県スキー指導員会も新生になって早くも十三年、歴史的経緯を尊重し、先輩諸先生方のご指導、助言を頂きながら運営をして参りました。上部団体であります日本スキー指導員会でも神奈川県

キャンセル料を頂きます。但し代理人は認めません。大会組分け 八年四月六日の満年齢により、男女とも五歳刻みで組分けします。表彰 原則として三位まで賞状、賞品を授与します。問い合わせ 藤木 昇 ○四五七七四一八五五 広松 樂山 ○四四一九二二五二二

### プライズテスト クラウン テクニカル

1997年3月1～3日  
車山高原スキー場

主催 全日本スキー連盟  
主管 神奈川県スキー連盟  
運営 神奈川県スキー指導員会  
主催 全日本スキー連盟  
主管 神奈川県スキー連盟  
運営 神奈川県スキー指導員会  
申込 所定の用紙に記入の上、八年三月一日(休)迄受付及び金額の支払は現地に申し受けます。キャンセルについては三月三十一日まで認めますが以後については活動には大いに注目しており、先般開催された日指ゴルフコンペも全国から参加された方々の中神奈川県が大いに協力し、ここでもその活躍ぶり

その中で指導員会の皆様にとつてより身近な、より存在感のある組織にして行きたいと考えております。今期行事はすでに始まっており、テニス大会、ゴルフコンペを十月に開催し、多数の参加者があり盛大に行われました。雪上行事は例年通り特別研究会、オール神奈川スキーヤーズ大会、クラウン、テクニカル検定会、フェスティバルの四行事です。各担当幹事もそれぞれに考えながら運営に取り組んでおります。皆様の参加を心からお待ちしております。

幹事長 吉岡 幹雄

## 第9回 特別研究会

1997年2月2～4日  
車山高原スキー場

本年指導員、準指導員を受験する皆さんに疑問点をスバリアお答えし、受験者の合格率アップをねらった企画です。充実した内容で実施致します。①経験豊富な指導スタッフ、検定員の目から見て受験者の理解度と技術の状況を指摘し、そのキーポイントを重点的に指導する。②実技模擬検定を実施し、検定当日までの指針が出来るように指導する。③各人の滑りをビデオ撮影し、ウイックポイントの対策を研究する。

## 第15回オール神奈川 スキーヤーズ大会

1997年2月3～4日  
八海山麓スキー場

この大会は競技スキーの楽しさを味わって頂く大会です。年齢や技術程度により組み分けし大会の前日はボール講習会を行い、競技スキーを安心して楽しんで頂く出来るようにジュニアの部を新設しました。クラブ会員や家族での参加をお待ちしています。県スキー連盟のポイントレースです。日時 八年二月三日～四日 会場 八海山麓スキー場 日程 二月三日十三時からボール講習会 二月四日九時三十分から大回転競技 参加資格 神奈川県在住、在勤、在クラブの者 募集人員 先着二〇〇名 参加費 三五〇〇円 表彰 各組六位まで賞状、賞品を授与、最高タイム者に特別賞を授与する。問い合わせ 清水 明 ○四五一九三三三〇八三 岡本 秀明 ○四二七二七三二一四三三